

大原の簿記シリーズ

理論問題集

日商簿記 1 級

全経簿記 上 級

資格の大原 簿記講座 編

大原出版

- 本書の特長 vii
- 本書の利用について viii

商業簿記・
会計学対策
編

1 企業会計原則等	2
2 棚卸資産	20
3 固定資産	34
4 リース会計	42
5 減損会計	52
6 研究開発費等	62
7 繰延資産等	70
8 引当金	76
9 退職給付会計	88
10 資産除去債務	98
11 純資産等	108
12 スtock・オプション	122
13 金融商品	128
14 外貨建取引等	140
15 税効果会計	154
16 連結会計	168
17 企業結合等	182
18 キャッシュ・フロー会計	190
19 会計上の変更等	200
20 収益認識等	208
21 その他	220

工業簿記・ 原価計算対策 編

22	原価計算基準	原価計算基準の設定について	232
23	原価計算基準	原価計算の目的と原価計算の一般的基準	234
24	原価計算基準	実際原価の計算	244
25	原価計算基準	標準原価の計算	266
26	原価計算基準	原価差異の算定および分析	270
27	原価計算基準	原価差異の会計処理	274

付 録

貸借対照表の表示例(略)	278
損益計算書の表示例(略)	279
株主資本等変動計算書の表示例(略)	280
連結貸借対照表の表示例(略)	281
包括利益を表示する計算書の表示例(略)	282
連結株主資本等変動計算書の表示例(略)	284
キャッシュ・フロー計算書の表示例(略)	285

(注) 本問題集における解答は当社編集部で作成したものです。

●本書の特長●●●●●●●●●●

1. 項目ごとに問題を収録

本書は、学習がしやすいように、穴埋め問題、語句の正誤判定問題、内容の正誤判定(○×)問題等を項目ごとに収録しています。苦手な項目を集中的に学習することができるなど、効率よく学習が行えます。

2. 原価計算基準も収録

本書は、商業簿記・会計学対策としての会計諸基準等に基づいた理論問題の他、工業簿記・原価計算対策として原価計算基準穴埋め問題も収録しています。日商簿記1級・全経簿記上級等の受験対策も万全です。

3. コンパクトサイズ

通勤・通学の時間も有効に活用し、理論学習をしてもらうために本書を開発しました。コンパクトサイズの本書なら、持ち運びが便利でいつでもどこでも学習が行えます。

4. カラーシート付き

本書は、解答が隠せるカラーシートが付いています。問題解答形式で学習効果を高めることができます。

本書の利用について

本書は、日商簿記1級と全経簿記上級等の理論対策問題集です。商業簿記・会計学対策編(穴埋め問題、語句の正誤判定問題、内容の正誤判定問題、記述問題)と工業簿記・原価計算対策編(穴埋め問題)の2部構成となっています。

商業簿記・会計学対策編

日商簿記1級および全経簿記上級における商業簿記・会計学の理論問題としては、主に下記の形式で出題されています。

- ① 穴埋め問題
- ② 語句の正誤判定問題
- ③ 内容の正誤判定問題
- ④ 記述問題

1 穴埋め問題

穴埋め問題とは、規定文等の文章の一部が空欄となっており、その空欄に入る用語を答える問題です。

2 語句の正誤判定問題

語句の正誤判定問題とは、規定文等の文章における下線部の語句が誤っている場合には、適当な語句を答える問題です。

3 内容の正誤判定問題

内容の正誤判定問題とは、文章について、正しいものには○を、誤っているものには×とし、×としたものは、その理由も答える問題です。

4 記述問題

記述問題とは、用語の定義等、問題で問われていることに対して、記述形式で答える問題です。

本書では、項目ごとに上記の出題形式を収録しています。

穴埋め問題

21項目に分類して、項目ごとに穴埋め問題、語句の正誤判定問題等を収録しています。

解答部分がカラーシートで隠せるようになっています。

各問題の重要度を示しています。
※★の数が多いほど重要度が高くなります。

1 ◆ 企業会計原則等① ◆

企業会計原則等①
穴埋め問題

Questions

問題

以下の文の()内に入る用語を考えなさい。

1 企業会計が成立するための基本的前提を会計公理といひ、企業実体の公理、(継続企業)の公理、および貨幣評価の公理がある。
【企業会計原則・一般原則・一 () (実業公理)】 重要度★★★

2 企業会計は、企業の財政状態および経営成績に関して、(真実な報告)を提呈するものでなければならない。
【企業会計原則・一般原則・一 (真実性の原則)】 重要度★★★

3 企業会計は、すべての取引につき、(正確の算定)の原則に従って、正確な(会計情報)を作成しなければならない。
【企業会計原則・一般原則・二 (正確の算定の原則)】 重要度★★★

4 資本取引と利益取引とを明確に区別し、特に(資本剰余金)と利益剰余金とを混同してはならない。
【企業会計原則・一般原則・三 (資本取引・利益取引区分の原則)】 重要度★★★

5 企業会計は、財務諸表によって、(財務関係者)に対し必要な会計事実を(明瞭)に表示し、企業の状況に関する判断を誤らせないようにしなければならない。
【企業会計原則・一般原則・四 (明瞭性の原則)】 重要度★★★

6 企業会計は、その処理の(原則)および手続きを(強制継続)して適用し、みだりにこれを変更してはならない。
【企業会計原則・一般原則・五 (強制性の原則)】 重要度★★★

7 企業の財政に不利な影響を及ぼす可能性がある場合には、これに備えて適当に(健全な会計処理)をしなければならない。
【企業会計原則・一般原則・六 (保守主義の原則)】 重要度★★★

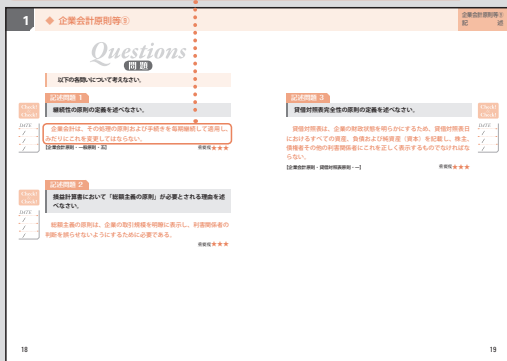
2 3

解答の根拠となる規定等の番号を記載しています。

チェック欄を掲載しています。解答後は「解答日」「解答の正・誤」等を記入することにより、どこが苦手なのかを把握することができます。

記述問題

問題のすぐ下に解答が掲載されているため、問題解答後、その都度解答を確認することができます。また、解答部分がカラーシートで隠せるようになっています。



工業簿記・原価計算対策編

日商簿記1級および全経簿記上級における工業簿記・原価計算の理論問題としては、主に原価計算基準の穴埋め問題が出題されています。

本書では、原価計算基準をすべて掲載し、重要な用語等を空欄にした穴埋め問題を収録しています。

原価計算基準のすべてを穴埋め問題として収録しています。

解答部分がカラーシートで隠せるようになっています。



◆ 商業簿記・会計学対策編 ◆

1 企業会計原則等

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

2 棚卸資産

①②③④⑤⑥⑦

3 固定資産

①②③④

4 リース会計

①②③④⑤

5 減損会計

①②③④⑤

6 研究開発費等

①②③④

7 繰延資産等

①②③

8 引当金

①②③④⑤⑥

9 退職給付会計

①②③④⑤

10 資産除去債務

①②③④⑤

11 純資産等

①②③④⑤⑥⑦

12 スtock・オプション

①②③

13 金融商品

①②③④⑤⑥

14 外貨建取引等

①②③④⑤⑥⑦

15 税効果会計

①②③④⑤⑥⑦

16 連結会計

①②③④⑤⑥⑦

17 企業結合等

①②③④

18 キャッシュ・フロー会計

①②③④⑤

19 会計上の変更等

①②③④

20 収益認識等

①②③④⑤⑥

21 その他

①②③④⑤

Questions

問題

Check!
&
Check!

以下の文章の（ ）内に入る用語を考えなさい。

DATE

/
/
/
/

- 1** 企業会計が成立するための基本的前提を会計公準といい、企業実体の公準、(継続企業)の公準、および貨幣評価の公準がある。

重要度★★★

DATE

/
/
/
/

- 2** 企業会計は、企業の財政状態および経営成績に関して、(真実な報告)を提供するものでなければならない。

【企業会計原則・一般原則・一（真実性の原則）】

重要度★★★

DATE

/
/
/
/

- 3** 企業会計は、すべての取引につき、(正規の簿記)の原則に従って、正確な(会計帳簿)を作成しなければならない。

【企業会計原則・一般原則・二（正規の簿記の原則）】

重要度★★★

DATE

/
/
/
/

- 4** 資本取引と損益取引とを明瞭に区別し、特に(資本剰余金)と利益剰余金とを混同してはならない。

【企業会計原則・一般原則・三（資本取引・損益取引区分の原則）】

重要度★★★

Check!
&
Check!

5 企業会計は、財務諸表によって、(利害関係者) に対し必要な会計事実を(明瞭)に表示し、企業の状況に関する判断を誤らせないようにしなければならない。

【企業会計原則・一般原則・四(明瞭性の原則)】

重要度★★★

DATE
/
/
/

6 企業会計は、その処理の(原則)および手続きを(每期継続)して適用し、みだりにこれを変更してはならない。

【企業会計原則・一般原則・五(継続性の原則)】

重要度★★★

DATE
/
/
/

7 企業の財政に不利な影響を及ぼす可能性がある場合には、これに備えて適当に(健全な会計処理)をしなければならない。

【企業会計原則・一般原則・六(保守主義の原則)】

重要度★★★

DATE
/
/
/

Questions

問題

Check!
&
Check!

以下の文章の（ ）内に入る用語を考えなさい。

DATE

/

/

/

1

株主総会提出のため、信用目的のため、租税目的のため等種々の目的のために異なる形式の財務諸表を作成する必要がある場合、それらの内容は、信頼しうる（**会計記録**）に基づいて作成されたものであって、政策の考慮のために事実の（**真実な表示**）をゆがめてはならない。

【企業会計原則・一般原則・七（単一性の原則）】

重要度★★★

DATE

/

/

/

2

企業会計は、定められた会計処理の方法に従って正確な計算を行うべきものであるが、企業会計が目的とするところは、企業の財務内容を明らかにし、企業の状況に関する利害関係者の判断を誤らせないようにすることにあるから、（**重要性**）の乏しいものについては、本来の厳密な会計処理によらないで他の簡便な方法によることも、（**正規の簿記**）の原則に従った処理として認められる。

【企業会計原則・注解 1（重要性の原則）】

重要度★★★

DATE

/

/

/

3

会計方針とは、財務諸表の作成にあたって採用した（**会計処理の原則**）および手続きをいう。

【会計方針の開示、会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準 4（1）】

重要度★★★

Check!
&
Check!

4

後発事象とは、決算日後に発生した企業の（**財政状態**）、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす事象のうち、評価期間の末日までに発生した事象をいう。評価期間の末日は、原則として、財務諸表の公表の承認日とする。

また、後発事象には、修正後発事象及び開示後発事象がある。修正後発事象とは、決算日後に発生した事象ではあるが、その実質的な（**原因**）が決算日現在において既に存在しており、決算日現在の状況に関連する会計上の判断又は見積りをする上で、追加的又はより客観的な証拠を提供するものとして考慮しなければならない事象をいう。一方、開示後発事象とは、決算日後において発生し、（**当期**）の財務諸表には影響を及ぼさないが、（**翌期以降**）の財務諸表に影響を及ぼす事象をいう。

【後発事象に関する会計基準・4、5、6、7】

重要度★★★

DATE
/
/
/

5

重要な修正後発事象については、（**財務諸表を修正**）する。一方、重要な開示後発事象について、開示後発事象が発生した場合に当該開示後発事象が将来の企業の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に及ぼす影響を財務諸表利用者が理解できるようにするため、重要な開示後発事象の内容及び影響額等を（**注記**）する。

【後発事象に関する会計基準・8、9、11】

重要度★★★

DATE
/
/
/

6

損益計算書は、企業の（**経営成績**）を明らかにするため、一般会計期間に属するすべての収益とこれに対応するすべての費用とを記載して経常利益を表示し、これに特別損益に属する項目を加減して（**当期純利益**）を表示しなければならない。

【企業会計原則・損益計算書原則・一】

重要度★★★

DATE
/
/
/

Questions

問題

Check!
&
Check!

以下の文章の（ ）内に入る用語を考えなさい。

DATE

/
/
/

1

すべての費用および収益は、その支出および収入に基づいて計上し、その（発生した期間）に正しく割当てられるように処理しなければならない。ただし、（未実現収益）は、原則として、当期の損益計算に計上してはならない。

【企業会計原則・損益計算書原則・一A】

重要度★★★

DATE

/
/
/

2

費用および収益は、（総額）によって記載することを原則とし、費用の項目と収益の項目とを直接に相殺することによってその全部または一部を（損益計算書）から除去してはならない。

【企業会計原則・損益計算書原則・一B】

重要度★★★

DATE

/
/
/

3

費用および収益は、その（発生源泉）に従って明瞭に分類し、各収益項目とそれに関連する費用項目とを損益計算書に（対応表示）しなければならない。

【企業会計原則・損益計算書原則・一C】

重要度★★★

Check!
&
Check!

4

貸借対照表は、企業の（**財政状態**）を明らかにするため、貸借対照表日におけるすべての資産、負債および純資産を記載し、株主、債権者その他の利害関係者にこれを正しく表示するものでなければならない。ただし、（**正規の簿記の原則**）に従って処理された場合に生じた（**簿外資産**）および簿外負債は、貸借対照表の記載外におくことができる。

【企業会計原則・貸借対照表原則・一】

重要度★★★

DATE
/
/
/

5

貸借対照表は、資産の部、負債の部および純資産の部の三区分に分ち、さらに資産の部を（**流動資産**）、固定資産および（**繰延資産**）に、負債の部を流動負債および（**固定負債**）に区分しなければならない。

【企業会計原則・貸借対照表原則・二】

重要度★★★

DATE
/
/
/

Questions

問題

Check!
&
Check!

以下の文章の（ ）内に入る用語を考えなさい。

DATE

/
/
/

1

資産および負債は、原則として（**正常営業循環基準**）と（**一年基準**）とで、流動項目と固定項目とに分類される。受取手形や支払手形には前者の基準が適用される。

【企業会計原則・注解 16】

重要度 ★★★

DATE

/
/
/

2

費用収益の対応形態には、個別的対応と（**期間的対応**）という二つの対応があるが、今日の期間損益計算における対応は、後者の形式の方が多い。

重要度 ★★★

DATE

/
/
/

3

重要性の原則は、一般原則の中に独立した形では、取上げていない。代わりに、処理原則としての重要性の原則は（**正規の簿記の原則**）に、表示原則としての重要性の原則は（**明瞭性の原則**）に含まれていると解釈できる。

重要度 ★☆☆

Check!
&
Check!

4 企業会計の領域は、会計情報を受取る相手の違いにより、財務会計と（**管理会計**）とに区分される。

重要度★★★☆☆

DATE
/
/
/

5 （**企業会計原則**）は、企業会計の実務の中に慣習として発達したもののなかから、一般に（**公正妥当**）と認められたところを要約したものであって、必ずしも法令によって強制されないでも、すべての企業がその会計を処理するに当たって従わなければならない基準である。

【企業会計原則の設定について・二 1】

重要度★★★★

DATE
/
/
/

6 前払費用のうち（**長期前払費用**）は、貸借対照表上、投資その他の資産の区分に記載する。

【企業会計原則・注解 16】

重要度★★★★

DATE
/
/
/

Questions

問題

以下の文章について、下線部のいずれかに語句の誤りが存在するものがある。誤りがある場合には、その記号（a～c）およびそれに代わる適当な語句を考えなさい。誤りがない場合には、○印とする。

Check!
&
Check!

DATE

/
/
/

- 1** 損益計算書には、営業損益計算a、経常損益計算b および特別損益計算c の区分を設けなければならない。

記号	適当な語句
c	純損益計算

【企業会計原則・損益計算書原則・二】

重要度★★☆

DATE

/
/
/

- 2** 営業損益計算は、一会計期間に属する売上高と売上原価とを記載して売上総利益a を計算し、これから販売費及び一般管理費b を控除して、営業利益c を表示する。

記号	適当な語句
○	

【企業会計原則・損益計算書原則・三】

重要度★★☆

DATE

/
/
/

- 3** 売上高は、発生主義の原則a に従い、商品等の販売または役務の給付b によって実現c したものに限る。

記号	適当な語句
a	実現主義の原則

【企業会計原則・損益計算書原則・三B】

重要度★★★

Check!
&
Check!

- 4** 負債は、流動負債**a**に属する負債と固定負債**b**に属する負債とに区別しなければならない。仮受金、未決算等**c**の勘定を貸借対照表に記載するには、その性質を示す適当な科目で表示しなければならない。

DATE
/
/
/

記号	適当な語句
○	

【企業会計原則・貸借対照表原則・四（二）】

重要度★★★☆☆

- 5** 貸借対照表に記載する資産の価額は、原則として、当該資産の取得原価**a**を基礎として計上しなければならない。資産の取得原価は、資産の種類に応じた費用収益対応の原則**b**によって、各事業年度**c**に配分しなければならない。

DATE
/
/
/

記号	適当な語句
b	費用配分の原則

【企業会計原則・貸借対照表原則・五】

重要度★★★★

- 6** 無形固定資産**a**については、その取得原価**b**から減価償却累計額**c**を控除した価額をもって貸借対照表価額とする。

DATE
/
/
/

記号	適当な語句
○	

【企業会計原則・貸借対照表原則・五E】

重要度★★★☆☆